



重富小学校 学校便り

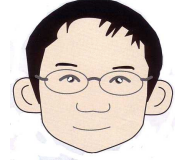
剣の平

令和6年度 4月号
創立136周年

(重富小HPアドレス)
<http://www12.synapse.ne.jp/sigetomisyo/>

学校
教育
目標

令和6年度スタート「剣の平に誓う、光輝く重富の子」
歴史と伝統を引き継ぎたい



校長 平 千カ

令和6年度がスタートしました。今年は、116人の新入生を迎え、児童数が714人となりました。学級数は35学級。職員数は65人でのスタートです。本年度も、「自律する力」と「共感する心」を育て、「学び続ける学校」にしていきたいです。そして何よりも、「well-beingな学校」をめざして行きたいと考えています。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

3月、6年生が「裏山を何とかし隊」を結成して活動したことは、学校だより3月号でお知らせしました。

私は、昨年度、用務員さんと、裏山の草刈りを幾度となく、行いました。草刈りをしていくうちに、重富小学校の歴史の重みを感じずにはいられませんでした。

「平松城ゆかりの古井戸」、「創立80周年記念事業の岩石園」、「創立90周年記念事業のたんれん坂」、「創立100周年記念事業の『生きる』の記念碑」、「平成5年から7年にかけて造られたワイワイ広場」、「創立110周年記念事業の水路復元」、「平成14年のホテル川ボーリング工事」、梅、桜、お茶、ビワ、ミカン、竹林、丁寧に造られた「看板」、たくさんの「記念樹」等々、先輩方の熱い思いがずっしりと伝わってきます。

草を刈りながら、この熱い思いを何とか子供たちにも伝えなければと思いました。

そんな中、ある地域の方から、「ワイワイ広場の小川にはホテルが居たんだよ。」ということをお聞きしました。ホテルが生息するには、まず、綺麗な水の流れが必要になります。餌となる「カワナナ」は小川にいることは確認しました。しかし、水の流れがどうしても悪いのです。水源が見当たらないのです。先輩方の話を繋げていくと、「裏山の先の山から水を引っ張ってきた」という情報にたどり着きました。

いてもたってもいられず、先日、保護者の有志の皆様と、教頭先生と私で裏山からその奥のさらに藪となった、木々をかき分け、上へ上へと水源を探しに行きました。足場も悪く、大木や竹林に覆われていました。まず、保護者がチェーンソーを片手に、水源から引いてあるホースを頼りに上へ上へと登って行きました。我々はその後に付いて行きました。すると、その先には、滝のようなダムのような水源にたどり着いたのです。

そして、先輩方が引いた、約500m以上あるホースに感動しました。こんな頂上から、こんなにも長いホースを引っ張って水を裏山の小川に引いたことを。



重富小学校の自慢の裏山。私は、この裏山を子供たちの「学習の場」、「遊びの場」、「ふれあいの場」、「発見の場」、「体力つくりの場」にしたいと考えています。それを子供たちと一緒に造り、「重富小学校を愛する子供たち」にしていきたいと考えています。道のりは遠いですが、何とか実現したいという思いです。

先輩方の熱い思いが伝わる裏山。重富小学校の自慢です。

「剣の平」に誓う

光り輝く重富の子

学校キャッチフレーズ

well-beingな学校